

【様式】

自然環境整備交付金による施設整備事例

1 国定公園等名	飛騨木曾川国定公園
2 施設名	公衆トイレ (名古屋鉄道善師野駅前)
3 公園事業名	東海自然歩道
4 整備箇所	愛知県犬山市 (善師野駅前)
5 整備年度	平成20年度
6 事業主体	愛知県
7 事業費	12,600千円
8 交付金	5,670千円
9 施設概要	木造平屋建、建築面積:14.76㎡、延床面積:14.76㎡

10 事例の解説 (特徴等)

飛騨木曾川国定公園における東海自然歩道は、木曾川沿いや雑木林の中をとる比較的平坦で歩きやすいコースであるが、一部、岩盤の尾根を通る険しい箇所もあり、バラエティ豊かであるとともに、日本有数の人造湖「入鹿池」、もみじでらと親しまれる尾張最古刹の「寂光院」、日本最古の「犬山城」、溪流下りで有名な「日本ライン」といった自然・文化の名所が随所にあり、また、都市圏から比較的近いことから、県民の手軽な自然散策路やハイキングコースとして四季を通じて親しまれている。

今回整備した公衆トイレは、このコースへの入り口といえる名古屋鉄道善師野駅前にあり、利用者が非常に多いトイレであるが、昭和58年に建築し老朽化が著しいため、交付金事業により建て替えを行ったものである。

建て替えに当たっては、周辺の自然景観へ配慮したデザインとしたほか、トイレより排出される汚水を生物処理 (カキ殻) により循環再利用する浄化システムを採用しており、環境にも配慮している。

11 施設写真

再整備後 ～水洗式～



カキ殻の自然浄化能力を活用し
汚水を浄化→洗浄水として再利用



再整備前 ～汲取式～

